

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【公表番号】特表2019-530535(P2019-530535A)

【公表日】令和1年10月24日(2019.10.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-043

【出願番号】特願2019-520087(P2019-520087)

【国際特許分類】

A 46 B 9/02 (2006.01)

A 46 B 1/00 (2006.01)

【F I】

A 46 B 9/02

A 46 B 1/00

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月6日(2020.10.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

細長く且つ長手方向軸を有し、複数のブラシ毛からなる細長い配列を含んでおり、前記配列が前記長手方向軸と実質的に平行な長手方向軸を有し、前記複数のブラシ毛のそれぞれがベースから自由端まで伸びている逆毛ブラシであって、

前記複数のブラシ毛からなる前記配列は少なくとも2つの長さの複数のブラシ毛を含んでおり、第1の長さの前記複数のブラシ毛は、第2の長さの前記複数のブラシ毛の長さの半分未満であり、

前記第2の長さの前記複数のブラシ毛の少なくとも何本か又は全部は、前記ベースからテープのついた相対的に幅の広い第1の部分と、前記第1の部分から前記自由端まで伸びる相対的に幅の狭い第2の部分とを含み、

前記第1の長さの前記ブラシ毛の少なくとも何本か又は全部は、前記ベースからテープのついた相対的に幅の広い第1の部分と、前記第1の部分から前記自由端まで伸びる相対的に幅の狭い第2の部分とを含んでいないことを特徴とする逆毛ブラシ。

【請求項2】

前記複数のブラシ毛は間隔を介してオフセットされた2以上の列に配置され、前記複数の列の複数の中心線は、一つの前記列の前記複数のブラシ毛の一部も、あるいは実質的に一部も、隣接する前記列の中の隣接する前記複数のブラシ毛の間に延びておらず、及びノ又は前記複数の列に対して直角に見て、前記複数のブラシ毛の幅、あるいは実質的に全ての前記ブラシ毛の幅は、隣接する1つの列の中の隣接する前記複数のブラシ毛の間の間隔よりも小さくて、隣接する1つの前記列の中の前記複数のブラシ毛の間の間隔が塞がっていないか、実質的に塞がれていないうなっている請求項1の逆毛ブラシ。

【請求項3】

前記第1の長さの前記複数のブラシ毛の少なくとも何本か又は全部は、前記ベースから前記自由端まで、僅かにテープがついており、あるいは実質的に全長にわたって実質的に同じ太さである請求項1または2に記載の逆毛ブラシ。

【請求項4】

前記複数のブラシ毛は間隔を介してオフセットされた2以上の列に配置されており、前

記第1の長さの複数のブラシ毛の1本の列は前記第2の長さの複数のブラシ毛の1本の列に隣接している請求項1乃至3のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項5】

前記配列の中の前記複数のブラシ毛からなる前記複数の列の何本か又は全ては、第1の長さの列と第2の長さの列の間で交番している請求項4に記載の逆毛ブラシ。

【請求項6】

前記第1の長さの前記複数のブラシ毛は長さ10mm以下であり、

前記第2の長さの前記複数のブラシ毛は少なくとも長さ25mmである請求項1乃至5のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項7】

長手方向の間隙が隣接する前記複数のブラシ毛の間に設けられており、前記複数の第1のブラシ毛の複数の前記自由端の高さにおける隣接する前記複数のブラシ毛の間の長手方向の間隙は1mm以下であり、及び/又は前記ベースにおける隣接する前記複数のブラシ毛の間の長手方向の間隙は0.75mm以下である請求項1乃至6のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項8】

隣接する前記第2のブラシ毛の少なくとも何本か又は全ての中心点の間の長手方向の間隙は3mm以上であり、及び/又は5mmを超えず、及び/又は隣接する前記第2のブラシ毛の中心点の間の横方向の間隙は7mm以上であり、及び/又は5mmを超えない請求項1乃至7のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項9】

前記第1及び第2の部分を有する前記複数のブラシ毛の幅は、前記ベースと前記自由端との間で不連続的に変化し、且つ前記複数のブラシ毛の前記第1の部分内で、前記複数のブラシ毛の幅は、同じ長さと幅の変化とを有し均一のテープがついている前記ブラシ毛のテープの角度よりも大きい角度でテープを持っている請求項1乃至8のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項10】

前記第1及び第2の部分を有する前記複数のブラシ毛のテープの程度は、前記複数のブラシ毛の前記第1の部分と前記第2の部分との間の境界において急に変化する請求項9に記載の逆毛ブラシ。

【請求項11】

前記第1及び第2の部分を有する前記複数のブラシ毛の前記第1の部分の少なくともいくつか又は全ては、少なくとも一部又は実質的に全長にわたって非円形の横断面を有し、前記非円形の断面は橢円形である請求項1乃至10のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

。

【請求項12】

前記第1の長さの前記複数のブラシ毛は実質的に全長にわたって卵形の横断面を有し、前記卵形の長軸は前記ブラシの前記長手方向軸と平行である請求項11に記載の逆毛ブラシ。

【請求項13】

前記第1及び第2の部分を有する前記複数のブラシ毛の前記第2の部分の長さは、前記第1の部分の長さの少なくとも4分の3であり、及び/又は前記第1の部分の長さは、前記第2の部分の長さの少なくとも4分の3であり、

前記第2の長さの前記複数のブラシ毛の何本か又は全ては、前記第1及び第2の部分を含み、前記第2の部分は前記第1のブラシ毛の少なくとも1.5倍の長さである請求項1乃至12のいずれか1項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項14】

少なくとも5本のブラシ毛からなる少なくとも3本以上8本以下の列が存在し、

100本以下の前記第2のブラシ毛及び100本以下の前記第1のブラシ毛が存在し、

前記複数のブラシ毛は、前記ブラシの長手方向軸に沿った長軸を有する複数のブラシ毛

の長方形の配列を形成する請求項 1 乃至 1 3 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 5】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛と前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は、前記長手方向軸に直角な方向から見ると、同様の幅及び / 又は形状を有し、

前記長手方向軸に沿って見ると、似ていない幅及び / 又は形状を有する請求項 1 乃至 1 4 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 6】

前記第 2 の長さの前記ブラシ毛は、前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の少なくとも 2 倍の幅を有する請求項 1 5 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 7】

前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は、前記ベースから少なくとも前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の前記自由端の高さまで、前記ブラシの前記長手方向軸を横断する方向について実質的に剛性を有する請求項 1 乃至 1 6 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 8】

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛は実質的に柔軟性があり、少なくとも前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛は前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛の前記自由端の高さよりも高い部分が実質的に柔軟である請求項 1 7 に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 1 9】

前記複数のブラシ毛からなる前記細長い配列はその幅の少なくとも 4 倍の長さであり、前記配列の幅は 20mm 未満であり、

前記配列の長さは少なくとも 60mm である請求項 1 乃至 1 8 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシ。

【請求項 2 0】

頭髪の区分けと、前記ブラシを使用して頭皮に向かっての少なくとも頭髪の一部のブラッシングとを含み、

前記第 1 の長さの前記複数のブラシ毛と前記第 2 の長さの前記複数のブラシ毛を使用し、

続く逆毛セットされた頭髪の平坦化、及び / 又は前記第 2 の長さのブラシ毛を使用した逆毛セットされた頭髪の部分的な解きほぐしを含む請求項 1 乃至 1 9 のいずれか 1 項に記載の逆毛ブラシを用いた逆毛セット方法。